

2024 March

Bulletin

To Be
The Y's Men's Club
of Kyoto



2024年3月1日 発行
第28巻 第9号
通巻306号

今月の聖句 マルコによる福音書15章39節

向い側に立っていた百卒長が、このようにして彼が息をひきとったのを見て、言った、「まことにこの人は神の子であった」。(田川健三『新約聖書／本文の訳』2018年より)

*イエスの十字架刑場で警備に当たった、裁く側ローマ帝国の軍人が発した言葉です(十字架刑はローマ帝国の処刑方法)。こうして刑死した罪人が3日後に蘇った、とされるイースター(復活祭)が今年も巡ってきます。

クラブ会長標語

『「Let's Have Fun」 ～想いは家族の為に、行動は自分の為に！～』

国際会長主題

“Let's Your Light Shine Good Communication Is theempower Cornerstone in every Cooperration”

輝かそう、あなたの光を 良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である

クラブ会長：渡邊 聡

アジア太平洋地域会長

“Be the light for change Shine and empower through fellowship”

変革のための光となろう 親睦を通じて輝き、力を得よう

国際会長：Ulrik Lauridsen

アジア地域会長：利根川 恵子

西日本区理事主題

未来に灯そう(ともそう) 希望の光 Let' s illuminate the light of for the future

西日本区理事：深谷 聡

京都部部長主題

仲間を増やそう Make more friends

京都部部長：武村 松一

「チャリティーボウリング トゥービー賞を頂いて」

京都ウエルクラブ 中村 隆司(京都部監事)

京都トゥービークラブの皆様、この様な名誉ある賞を頂き本当に有難う御座います、そして本当の所の期待に反してパーフェクト出席を続けていくつもりです。引継例会を楽しみにしておりますので残り数か月もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

京都トゥービークラブの皆様、今期1年間準メンバーとして仲間に入れてもらっている中村隆司です、いつもお世話になり有難う御座います。思い起こせば去年の2月26日の京都部チャリティーボウリング大会、表彰式の途中でトイレに行き、出てきた時に丁度25周年に因んだ25位トゥービー賞、1年間24回例会無料招待の発表をされることでした。何気なく聞きながら、「誰が当たるんやろ、まさか俺に当たったりして・・・」なんて冗談で思いながら歩いておりました。ところが私の名前が呼ばれた時に、「マジで・・・、そんな事あんの・・・」とビックリ仰天！神が無い降りたかと思ったかどうかは別として、「何とまたうまい事当たったもんやな」と思いつつ、「これはまた色々大変やな」と早速先々の事を考えてしまいました。しかしここは私のモットーでもある「やる時はとことん完璧を目指してやりきる」の精神で、せっかくなので、ご期待にお答えしてパーフェクトを目指そうと決心致しました。まあトゥービークラブの皆様は、「誰に当たったとしても2〜3回程来たら良いところやろ」と思っておられたのが正直な所だと思いますが、6月の引継例会で表彰してもらおうの楽しみに、自クラブのスケジュールをウエルの皆さんにお願いをして変更してもらってまで日程調整を致しました。

私はウエルクラブのチャーターメンバーですが、クラブが出来て間もない頃からトゥービークラブの皆様には仲良くして頂き、私も勝手に懐いており、今までに数えきれないくらい例会にも出席させて頂き、畑本部長期には主査をさせて頂き、また古田理事期には部長として1年間ご一緒させて頂き、そして東西日本区交流会の時も古田実行委員長のもとでマージナル委員長として仲間に入れて頂き、本当にご縁を感じております。ですから「当たるべき私に必然的に当たったんだろう」と冗談交じりに勝手に思ったりもしています。

勿論存分に楽しませて頂いておりますが、ただそれだけではなく、せっかくなので頂きたいので、色々と見聞きし、体験し、勉強させて頂き、吸収出来る物は吸収させて頂き、これからのワイズ人生に役立てて行きたいと思っております。



中村 隆司(京都ウエルクラブ)



2月第一例会

2月10日(土) 17:00~20:00 宇治リトリートセンター

『リトセン真冬の大焚火フェス!』

2月10日(土)、宇治リトリートセンターにて真冬の大焚火フェスに家族みんなで参加してきました。

天気は雨模様でしたがそのうちに雨がおさまり、16時いよいよ開催! コメット達による大焚き火点火の瞬間に炎と共に勢よく熱く燃え上がり冬の寒さを吹き飛ばしました。高く燃え上がる躍動感のある火柱と高く舞い上がって優しく降り注ぐ火の粉が幻想的で身も心も温まりました。

火を見つめていると色々なことを振り返ったり考えたりして何故だかわからないですがなんとなく懐かしい気分になります。

会場ではカレーやピザなどいろいろな食事が用意されていてそれぞれが好きなものを堪能し、焚火の周りで焚火遊びを楽しみ、ミニライブやクイズなど催し物も沢山行われ皆がとても大盛り上がり!

洪水 Y 講師によるミニ焚き火講座では子供達が興味津々に聞いていてファイヤースターターで火花を飛ばした時に子供がビックリしている姿がとても面白く印象的でした。

最後に季節外れの花火を皆で楽しみ無事にイベントを終える事ができました。

京都トゥービー 宮代 善文



チャリティーボウリング大会に参戦して 京都トゥービー 小幡 弘

2月25日開催の京都部チャリティーボウリングに参戦しました。

早いもので我々が木村拓馬地域奉仕環境主査を中心にトゥービークラブがホスト開催して、もう一年が過ぎました。今期のホストクラブは京都 ZERO クラブさんです。

今回の参加者は192名で、ほぼ上賀茂 MK ボウル貸切状態です。

武村部長の挨拶と始球式からスタートです。トゥービークラブからは4名参加と寂しい結果となりましたが1年振りのボウリングです。上手いく訳がありません・・・成績は褒められたものではありませんが参加することに意義が有る、と信じて和気藹々とゲームをこなしました。

さて今回の献金先は『能登半島地震支援』です。

当日の献金箱に集まったお金は77,848円。ボウリングの収支が165,266円 合計243,114円の支援金を送る事が出来ました。

能登半島地震の被害状況はまだまだ復旧に時間を要し、普段の生活を取り戻すまで本当に厳しい状況です。僅かでも被災地の皆さまのお役に立てる様、出来る事を考えていきたいと思います。京都ZEROクラブの皆さま、本当にお疲れ様でした。



能登半島地震支援ボランティア報告

国際・交流事業主任 小田哲也（福岡中央クラブ）

1月1日夕方4時10分ごろ、ぼーっと家族でテレビを見ながらゆっくりしていたら、北陸地方での地震発生ニュース。「正月から、大変なことに・・・」と、清水書記、山内会長、その他、新潟、富山在住の友人に連絡。皆の無事を確認しながら、「自分に何ができるのか・・・。一人で動くとはできない。邪魔になるだけ・・・。さあ、どうしよう」と思っていたら、私が所属している（公社）青年海外協力協会（JICA 青年海外協力隊 OV 中心に組織する公益社団法人、以下 JOCA と表記）より、1月3日に先遣隊を送りボランティア募集する旨のメールが1月5日に届きました。私も仕事をしており、1月頭は子どもたちの年度初めの対応や授業もあり調整が効かず、行けるとしたら2月9日辺りから20日くらいまで。JOCA も刻々と変化している現場とボランティアの調整等に追われ、派遣依頼は活動2日前とか・・・。結局、2月12日から18日までの活動が決定しました。その間、2月15日に、当 NPO 法人箱崎自由学舎 ESPERANZA の寄付会員のひろえ歯科医院の中村ひろえ先生より、水がいない口腔衛生グッズ（スプレー 214 個、免疫サプリメント 394 個、総額 1,982,760 円分）のご提供依頼がありました。「どこか有意義に使ってくれるところがあれば紹介いただきたい。」と。そこで、YMCA と JOCA に問い合わせたところ。YMCA が即答。「とにかく福岡 YMCA へ送ってくれ、その後は富山 YMCA に送り、必要なところに適切に配置する。」とのこと。18日には福岡 YMCA へ届けました。さすが YMCA 動きが早かったですね。有益に使っていただいていることを期待しております。

さて、当方の活動に関しては、12日の朝6:30に石川県白山市にある佛師園（行善寺）に集合し、輪島市と能登町へ物資と共に移動すること。現場に集合し、初顔合わせしたボランティアたちが、それぞれの車に乗り込み、約3時間かけて現場へ。私は輪島市へ派遣され、漆器の町輪島市へ到着するとテレビで見る悲惨な状況。ここで何ができるのか・・・。

私ども JOCA が担っているのは YMCA と同じく、避難所運営の支援。各避難所は輪島市の職員に併せ、各都道府県をカウンターパートとして避難所を運営する対口支援という方式をとっており、JOCA が支援している河井小学校、輪島中学校は大阪府と、輪島高校は長野県と、JA は独自でという運営方法でした。それぞれの避難所で関係者会議も行いつつ、支援団体が夕方に会議をもち、情報共有しながら被災地の支援にあたっている状況です。

私は、河井小学校の避難所に2日配属され、2日目午後は放課後の子どもたちとの野菜収穫支援、その翌日から輪島中学校へ2日間、残りの3日間は河井小学校での活動ということになりました。

被災後1か月以上経った2月半ば現在においては、道路の緊急補修も進み、金沢から被災地への移動も日々改善されており、避難所へ届く物資は今回見る限りにおいては潤沢と思われます。輪島市において、電気は2月1週目に復帰しており、水道は飲料不可ですが、日々復旧しており、3月末までには全市の水が使えるようにする計画。多くの支援者のおかげでインフラは整いつつあります。

しかしながら、被災者の方は将来が見えない・・・。と。仕事、家、生活は・・・。

仮設住宅は3月末に400戸、最終的には500戸建設すると聞いていますが。被災者にとって先が見えない状況です。私たち、避難所支援ボランティアは、物資の分配、段ボールベット、パーテーションの設置・補強、トイレ設置・清掃、配膳支援等しながら被災者の声に耳を傾けつつ、なるだけ被災者の方の不安が軽減するようにと動いてはいるものの、どのような声掛けが適切なのか、本当に厳しい状況でした。小田は職場に帰り、当 NPO スタッフの許可を得られれば、春休み中に再度2週間ほど支援に行きたいと思っています。

みなさんもできることを考え、ワイズ活動を楽しんでいただきたいと思います。



国際・交流事業主任
小田哲也（福岡中央クラブ）

2月第二例会 2月28日(水) 19:00~21:00 ANAクラウンプラザホテル京都

『越前屋俵太的オモロジカルシンキングのすすめ!』

今回、ゲストスピーカーとして越前屋俵太氏をお招きし、楽しく心に残る講演をして頂きました。

俵太さんと言えば、テレビ黄金期にとりわけ異端の存在感でパフォーマンスをされていたのが、今でも皆さんの記憶に強く残っているのではないのでしょうか。

今回の講演でもお話しして下さいましたが、

『日本人はアリのようだ』と批判したフランス首相に抗議するべく、アリのコスチュームでフランス首相官邸にアポ無しで突っ込み、そして警備に追い返され、最後はセリーヌ川に落ちる。それをフランスのニュース番組が取り上げ、アリとギリギリに例えたウィットに富んだコメントで返す。

私はこの見事に洗練されたパフォーマンスに心から感動しました。

アリ男は無茶苦茶で面白いだけで無く、知的でスマートな抗議をしたのだと、改めて気づかされました。

現在俵太さんは多岐にわたる分野で活動されています。

私も俵太さんのアート活動に参加させて頂きました。

やはり少し斜めな彼(*彼からすると真っ直ぐ)独特の直感で判断される視点に感動しました。

私も自分に素直なオモロジカルなオヤジでありたいです。 京都トゥービー 西川恭史



京都トゥービークラブ・第28期会長

ナベのひとり言

さあグレンデへ出発!
今年もスノーボードを楽しむ季節がやってきたと言いたいところだが、もう直ぐ3月でしかも暖冬。1月の寒波が来た時に今にでも飛んで行きたい気持ちだが、道路が封鎖されているよって言われて断念。
しかし今年こそはって思って2月の初旬に娘と近場へ滑りに行ったが、体力もなく、疲れたので早々に切り上げ温泉へ。明らかにトレーニング不足だった。
あ〜やってターンして、ここでジャンプして、人を避けてとイメージトレーニングだけはバッチリ出来ているが実際のところはそんなに上手くない。
若い頃に少しコースを外れて林間を滑っていた事が有り、目の前に木があるのが分かっているのに、木にぶつかっていった事があった。みんな見ているしメチャクチャ痛いし恥ずかしかった。(漫画でよくあるシーン)
最近はやりたい事が増えてきたので、歳を重ねても続けられる趣味を探そうと思う!

YMCA NEWS

①「この春から、YMCAではじめてみませんか?4月から子どもウエルネスプログラム申込み」

スイミングスクール、体操、サッカー、バスケットボール、キッズダンス
自然体験学習プログラム、アフタースクール
お申込み・お問合せ：京都 YMCA ウエルネスセンター

お申込み・お問合せ：京都 YMCA ウエルネスセンター
詳しくは下記 URL をご覧いただくか、下記 QR コードを読み取ってご覧ください。
<https://wellness.kyotoymca.or.jp/wp-content/uploads/2024/01/2024kyotoymcawellnesskids.pdf>



例会出席

2月第1例会	18名
ゲスト	: 2名
メネット	: 2名
コネット	: 6名
2月第2例会	23名
ゲスト	: 7名
メネット	: 2名

ニコニコ

1月第1例会	18,000円
1月第2例会	0円
累計	135,000円

クラブオフィス：京都 YMCA

住所 〒604-8083 京都府京都市中京区 三条通柳馬場東入中之町 2
電話 075-231-4388

会長 渡邊 聡
副会長 松崎 和彦
 山内 哲
書記 桶谷 雄一
 宮田 雄輔
会計 溝口 誠